

一般財団法人東京マラソン財団とサポーターティングパートナー契約を締結

株式会社ネットウエルシステム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：富田 秋実、以下「ネットウエルシステム」）は、このたび一般財団法人東京マラソン財団とサポーターティングパートナー契約を締結したことをお知らせいたします。

当社は「東京マラソン2027」に参加されるランナーの皆様が大会に向けてご自身のコンディションを把握し、安全・安心に参加できる環境づくりを支援することを目的としています。この取り組みを通じ、東京マラソン財団が掲げる「持続可能な大会運営」の実現および、2027年の東京マラソン20回記念大会に参加するランナーの皆様が万全の状態で大大会に臨めるよう、体調管理をサポートします。

■サポーターティングパートナー契約締結について

ネットウエルシステムは、AI・画像解析技術を活用したヘルスケアソリューションにより、人々の健康を支えるとともに、スポーツイベントにおける安全性向上に取り組んでまいり、東京マラソン 2027 においてヘルスチェック支援サービスを提供するサポーターティングパートナーとして参画いたします。

国内最大級のランニングイベント東京マラソンにおいて、ランナーの皆様の状態把握をサポートし、大会参加体験の向上と円滑な大会運営に貢献します。



■ヘルスケアモニタリングシステム「WWS」について

ネットウエルシステムが開発・運営する WWS (Workout Well-being Scorer) は、ランニングをはじめ、日常的に身体を動かす方々が自身の状態を把握できるように、NuraLogix 社の技術を採用し、スマートフォンや PC のカメラで顔を撮影するだけで血流や心拍の変化を解析し、トレーニング時の疲労度や健康指標をスコア化する AI ヘルスケアサービスです。

特別な機器を必要とせず、短時間で手軽に測定できるため、日々の健康管理や身体の変化への気づきをサポートします。

東京マラソン2027では、ランナーの皆様が大会当日をより良い状態で迎えるためのサポートサービスとして活用される予定です。

本サービスの提供を通じて、ランナーの皆様への新たな価値提供を通じて、大規模スポーツイベントにおけるヘルスケア活用の可能性を広げてまいります。

■今後の展望

ネットウエルシステムは、本取り組みを通じて、テクノロジーを活用した健康管理の新たな可能性を追求し、より豊かなスポーツ体験の創出に取り組んでまいります。

また、企業の健康経営、自治体の健康増進施策、建設現場における安全管理など、様々な分野で培った知見を活かし、先進技術による新たなヘルスケア体験の創出を通じて、より豊かな社会の実現に貢献してまいります。

■株式会社ネットウエルシステムについて

株式会社ネットウエルシステムは、ソフトウェア開発事業を主体に 2000 年 6 月に創業し、翌年 1 月より自社開発した統合型ネットマーケティングソリューションの「MarkONE シリーズ」を主軸製品としながら、様々な企業へのネットマーケティングサイト構築へ向けてのご提案・導入を行っております。

近年では、AI と画像解析技術を活用したヘルスケアソリューションにも注力しており、スマートフォンや PC のカメラで非接触にバイタルデータを測定できる「DoHISe」や、測定結果からコンディションを可視化する「WWS (Workout Well-being Scorer)」を提供しています。これらのサービスは、企業の健康経営や従業員の健康管理、建設現場などにおける安全管理、大規模マラソン大会でのランナーサポートなど、幅広い分野で活用されています。

これまでに培った数多くの導入実績とノウハウを活かし、今後もお客様の業務効率化と新たな価値創出に貢献する製品・サービスを提供してまいります。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ネットウエルシステム 営業部 担当：石塚

TEL：03-3345-2180 FAX：03-3345-2172

E-Mail：info@nw-system.co.jp

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ネットウエルシステム

営業部 TEL: 03-3345-2180 Mail: info@nw-system.co.jp